

<問題Ⅱ 正解と解説>

問題 1：正解は a

「技術力ではなく」が誤り。

問題 2：正解は c

令和 4 年 4 月 1 日以降→令和 3 年 4 月 1 日以降

問題 3：正解は d

a：× 建設コンサルタンツ倫理綱領(1) 専門とするサービスの提供

b：× 建設コンサルタンツ倫理綱領(2) 事実にもとづく表明

c：× 建設コンサルタンツ倫理綱領(4) 公正な競争

問題 4：正解は a

随意契約の一種。

問題 5：正解は c

管理技術者の人選を発注者側ができるなどありえない。

問題 6：正解は c

瑕疵担保の責任が終了する日までなど、相当の期間は保管しておくことが適当である。

問題 7：正解は d

電子成果品作成費は直接経費に含まれる。

問題 8：正解は c

照査技術者は、業務完了に伴って照査結果を照査報告書としてとりまとめ、管理技術者に差し出すものとする。

問題 9：正解は a

同意した場合は履行期間途中であっても、成果品の部分引渡しを行うものとする。

問題 10：正解は d

業務の中間時期には評価しない。

問題 11：正解は d

防災活動への取組等により蓄積された経験等の適切な項目を審査項目とすることも考えられるとされている。

問題 12：正解は b

最低価格の公表はしない。適正な予定価格を設定し、速やかに入札契約を締結するよう努める。

問題 13：正解は c

5つの観点とは、①暮らしを支える生活サービス提供機能の維持・向上、②競争力の確保に向けた新たな付加価値・イノベーションの創出、③担い手不足の解消に資する生産性向上・働き方改革の促進、④災害の激甚化・頻発化に対応する防災・減災対策の高度化、⑤脱炭素社会の実現に向けたエネルギー利用の効率化

問題 14：正解は d

社会情勢変化としてあげられているのは①激甚化・頻発化する自然災害、②人口減少等による地域社会の変化、③国内外の経済状況の変化、④加速化するインフラの老朽化、⑤デジタル革命の加速、⑥グリーン社会の実現に向けた動き・ライフスタイルや価値観の多様化の6項目。

問題 15：正解は b

「総力」と「インフラ経営」の2つの概念を追加した。

問題 16：正解は c

4つの視点は①デジタル基盤の整備、②デジタル人材の育成・確保、③地方の課題を解決するためのデジタル実装、④誰一人取り残されないための取組。

問題 17：正解は b

エネルギー、上下水、リサイクルなどを地域内で最適管理するということがある。

問題 18：正解は c

①維持すべき機能、②新たに加えるべき機能、③役割を果たした機能に再整理して、個別インフラ施設の維持／補修・修繕／更新／集約・再編／新設等を適切に実施する。

問題 19：正解は c

著作権は、著作者の精神的生産物に対する名誉を保護する「著作者人格権」と著作物を他の財産権と同様に扱うことができる「著作者財産権」とで構成される。

問題 20：正解は b

行動規範：「利害関係者から教唆された事項については、表明、批評、あるいは主張を行わない。」